

# 探究学習講話

探究学習とは何か・探究的な学習が必要とされている理由・探究学習の進め方など、探究学習の初歩的な内容の講話により、探究学習への動機づけを行います。

場所	講堂・研修室	対象	中学生以上
所要時間	1時間程度	人数	最大538名 (講堂の収容人数)
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	職員指導あり	提出書類	なし
経費	なし		



室内での活動

活動の教育的効果	(1) 探究学習とは何かを学ぶことができる。 (2) なぜ探究的な学習が必要とされるかを学ぶことができる。 (3) 具体的な探究学習の進め方を学ぶことができる。
準備するもの	団体が準備するもの
	<input type="checkbox"/> なし
	交流の家が貸し出すもの
	<input type="checkbox"/> なし
備考	<input type="checkbox"/> 講話内容については、活動時間に応じて職員と相談して決めることができる。 <input type="checkbox"/> 他団体と同じ時間帯の実施はできない。 <input type="checkbox"/> 職員が講師をする場合は、実施時間を9時から17時までとする。

活動の流れ

# 探究学習講話

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	事前準備		□職員が行う。	
	30～60分	講話	□探究学習について職員からの講話を受ける。 □講話の中で、生徒に対し質問のやりとりをするなど、考える時間、相談する時間を設ける。	
想定される リスク	□なし			
指導の バリエーション	□探究的な学びを深めるためのオリエンテーション合宿（高校生対象）・中学会議所（中学生対象）を教育事業として行っているため、この事業に参加することでより学びを深めることができる。			

## 探究講話スライド例

「探究」って? ※「探求」でないよ

「探」 さがす（探検、探索）  
「究」 きわめる（研究、究明）

物事の本質や意義を探って  
見究めようとする

なぜ探究的な学びが求められるのか

「普通」の概念が変わるとともに、「未知のもの」が多く起こりうるこれからの社会では、「未知」に対して、行動する力が求められている。

「未知のもの」に対しては、誰も正解を知らない。したがって、自ら考え、自分なりの「回答」を探し続ける力も大切になっている。

探究的な学びとは

- 自分の好きなこと、興味があること、深めたいことをちょっと外に広げていく時間
- 各教科で学んだことを「活かす」方法を身につける時間

室内での活動